

----- (はじまり) -----

タケシ「スーパーの売り上げも2014年の4月から7ヶ月連続で前年比マイナスか…。不況真っ只中って感じだなあ。僕も今月は付き合いが多くて大変だよ」

アスカ「あら？年の瀬で金欠気味？」

タケシ「今年はボーナスもあんまり多くなかったし…。不況だから仕方ないんでしょうけどね」

アスカ「そうね。仕事の量は変わらないのに納期と見積り額だけは減ってるもんね」

タケシ「そうそう、これ見てくださいよ。金融資産を持っている日本の世帯数に関する調査なんですけど、富裕層の人が増えたんですって。景気が良いのやら悪いのやら訳分かりませんよ」

【2013年時点における日本の世帯が保有する金融資産】

	兆円	世帯数	
超富裕層 (5億円以上)	73	54000	
富裕層 (1億円以上)	168	953000	
準富裕層 (5000万円以上)	242	3152000	
アッパーマス層 (3000万円以上)	264	6517000	
マス層 (3000万円未満)	539	41827000	不動産等は除く

アスカ「へー。私含めて、庶民はマス層って呼ばれてるんだね。それより上がアッパーマス層なんだ。ふーん、富裕層って名前が付くのは資産が5000万円以上なのね…」

タケシ「そうですよ。富裕層以上の世帯数が約100万ですよ。100万の世帯が1億円以上持ってるんです。不公平ですよ」

アスカ「結果平等の世界じゃないからね。もしかしたら、血反吐を吐いて働いて得たお金かもしれないじゃない」

タケシ「まあ、そうなんですけど。なんだか格差が悲しくて…」

アスカ「そうね。普通、働いて1億円貯めるのは簡単じゃないから、事業に成功したか、遺産を貰ったか、株や不動産で儲けたか、そんなとこ

ろでしょうね」

タケシ「しがないサラリーマンとは世界が違いますね」

アスカ「日銀が異次元の金融緩和してるから、実のところ株式投資によるものが大きいかもね。ところで、ちゃんと全体像を把握して見てる？」

タケシ「ぜ、全体像？」

アスカ「1億円以上の世帯数が100万なのは分かったけど、そもそも日本全体の世帯数ってどれくらい？割合って大事でしょ」

タケシ「あ、そうか。えっと、52503000世帯です」

アスカ「大雑把に計算すると、日本の全世帯数は5000万世帯で、そのうち、1億以上の富裕層世帯が100万世帯なんだから、その割合は...」

タケシ「2%ですね。今度はなんだか少ないような気もしてきました」

アスカ「それでも50世帯に1世帯は1億円持っているってことになるわね」

タケシ「うーん。そう考えると多い割合に思えますね」

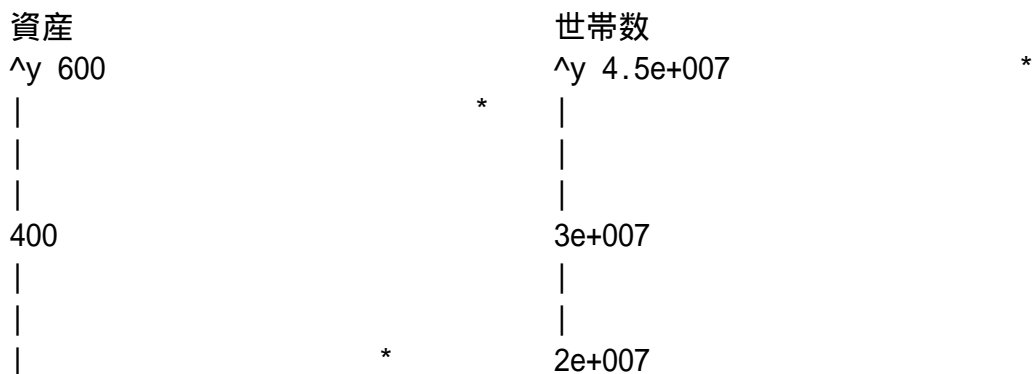
アスカ「じゃ、全体の資産額ってどれだけ？」

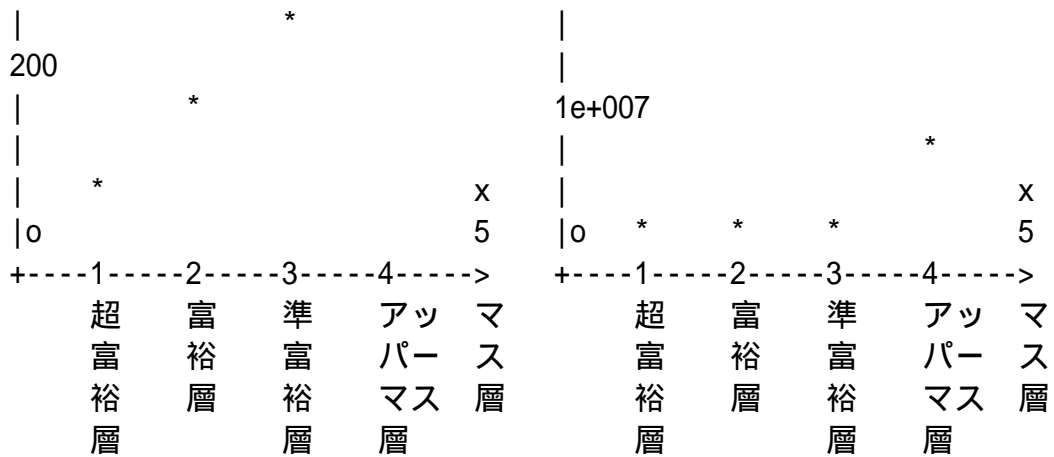
タケシ「えっと、合計すると...1286兆円です」

アスカ「すると約1200兆円のうち、超富裕層と富裕層で168兆+73兆だから241兆円よね。割合にすると約20%ってところね」

タケシ「たった2%の世帯の人が全体の資産の20%を持ってるって事ですか！」

アスカ「そのとおり。どうも格差社会の匂いがするね。各層毎の資産と世帯数のグラフだと良く分かるわよ」





タケシ「マス層の世帯数がダントツですね。逆に資産のグラフはそれほどの格差を感じないですけど...」

アスカ「資産を世帯数で割ると見えてくるわよ。次はそれぞれの層毎に資産の平均を出してみてよ」

タケシ「えっと、超富裕層が13億5千万円、富裕層が1億7千万円、準富裕層が7千万円、アッパーマス層が4千万円、マス層が1千3百万円です」

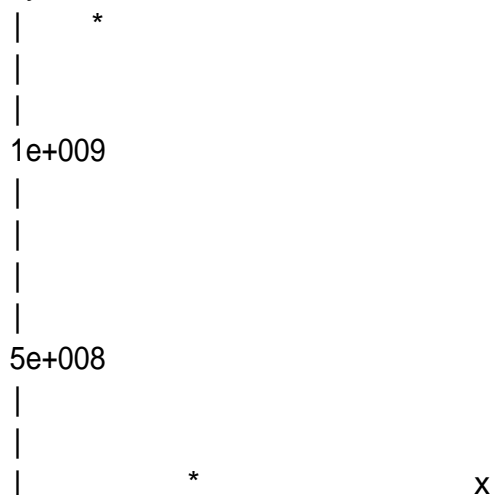
アスカ「マス層でも意外に金融資産があるように思えるけど、これって平均だからね。他の調査では金融資産を持っていない世帯は30%にも及ぶんだよ」

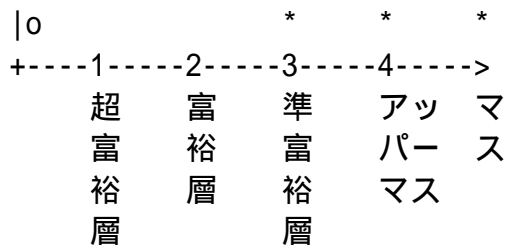
タケシ「それって、3割の世帯が貯金ゼロってことですか？」

アスカ「そのとおりよ。格差は確実に広がっているの。それを踏まえた上で、資産を世帯数で割った平均資産をグラフにすると...」

資産 ÷ 世帯数 = 平均資産

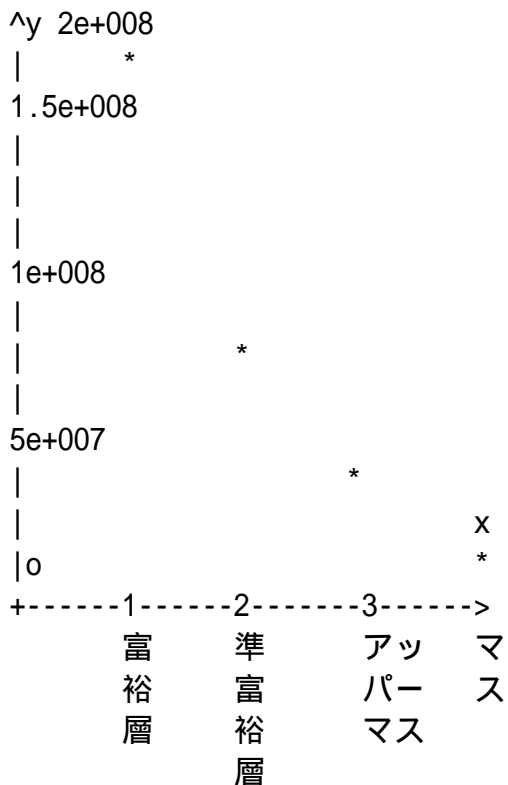
^y 1.5e+009





タケシ「超富裕層の一人勝ちじゃないですか。超富裕層から見たら他の層の資産なんてたかが知れてる感じですね」

アスカ「そうかしら、超富裕層を除いてもう一回グラフにすると...」



タケシ「あれ、似てますね。さっきほどじゃないけど何だか似た曲線ですね」

アスカ「べき法則に従っていると、こんな現象になるのよね。資産のある人から資産のない人を見ると同じ風景が見えるのよ。上には上が、下には下がいるってことね」

タケシ「ふう。やるせないですね。不景気なんだから、富裕層の人がじゃんじゃんお金使ってくれればいいのに...」

アスカ「いい視点よ。ただ、使ってくれるのは逆にマス層の人たちなのよ」

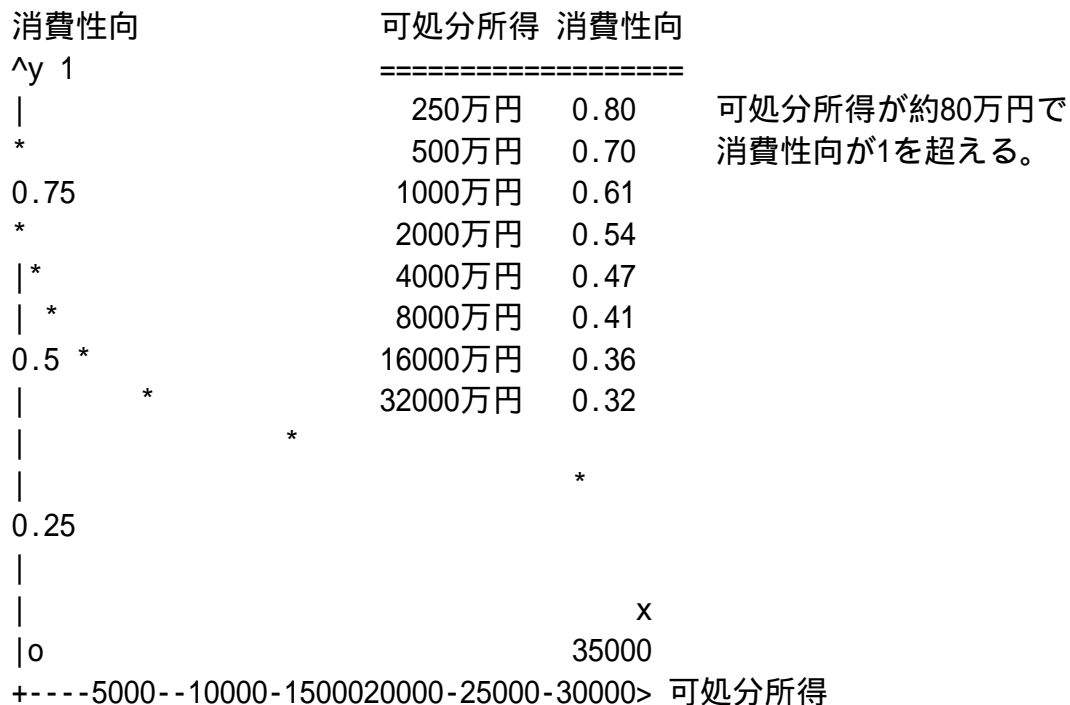
タケシ「え？何ですか。不景気なら余計に我々庶民の財布の紐が固くなる

ように思えますけど...」

アスカ「うーん。収入からどれくらいを消費に回すかっていう、消費性向ってのがあってね。高所得者はその割合が低いのよ。逆に低所得者は貯金する余裕も投資する余力もないからほとんどを消費に使うわけ」

タケシ「そうか。よく胃袋の大きさは同じって言いますもんね。どんなにお金があっても食べる量には限度があるっていうやつですよ」

アスカ「家計調査によると可処分所得、あ、住居費、食費と違って自由に使えるお金ね。当然、高所得の人の可処分所得は大きくなるんだけど、この可処分所得と消費性向には関係があって、こんなふうになるみたい」



タケシ「???消費性向の0.80とってどういう意味なんですか?」

アスカ「収入の80%を消費に使うってことね」

タケシ「なるほど。でも、本当に低所得者の消費性向って高いんですね。それに比べて、高所得者は可処分所得が3000万くらいになると半分くらいしか消費に使わないんだ。億超えると3割しか使わない...」

アスカ「とにかく、消費性向が高ければ高いほど経済活動は活発になって、GDPも増えるのよ。ある意味、日本の経済はマス層の人が動かしているわけ。経済活動の血液とも言えるのかな」

タケシ「でも、今不況ですよね」

アスカ「見方は様々だから、今でも好況だと言ってる人もいるけど。在庫が捌けるのに時間がかかったとか、天候不順で冷夏だったらとか、色々と理由を言ってるけど、GDPの結果を見る限りは不況よね。やっぱり、消費税8%が効いたみたい」

タケシ「5%から、たった3%の増加だったのに」

アスカ「ラクダの背中の藁に乗せた最後の一本だったのかもね。3%から5%に増えた時だって、消費税の税収は増えてないんだから、8%になって増えるわけないもの。消費税を増税しても高所得者はあまり痛手を負わないけど低所得者はダメージが大きいから、どうしても消費を控えるようになるわよね」

タケシ「すると、今までの消費性向が変わってきて...」

アスカ「そう、経済活動は滞り、GDPは悪化するわけ。血液の流れが悪くなれば病気にもなるわよ」

タケシ「それでマス層に位置する僕のボーナスも悪化したのか...」

アスカ「何、カッコいいこと言ってんの。あんたの場合、単に査定が悪かったからじゃない？上司としては甘めに点付けたんだけどなあ。決めるのは上の人だから...」

タケシ「ええーっ！」

----- (つづく) -----